

「わたしたちの生活と環境」（第二次中の3時）の評価事例
 ～「社会的な思考・判断」をどう評価するか～

1 小学校でつきたい「社会的な思考・判断」の力とは…

○ 学習指導要領 社会 各学年の目標から

学年	「社会的な思考・判断」の力
第3・4学年	地域社会の社会的事象の 特色や相互の関連などについて考える力
第5学年	社会的事象の 意味について考える力
第6学年	社会的事象の 意味をより広い視野から考える力

2 評価の実際

(1) 小単元の目標

- ・公害の原因やその被害の実態、また人々による環境改善の取り組みを具体的に考えることができる。 [思考・判断]

(2) 本時のねらい

- ・公害問題の解決に37年間もかかった理由を、具体的な事実と結び付けて考えることができる。 [思考・判断]

(3) 学習過程

時	児童の活動と思考の流れ	教師の指導・支援と評価
10 2 28 5	1 前時をふりかえる。 2 本時の課題を確認する。 <どうして、「七色の煙」の街を「星空の街」に変えるのに37年間かかったのだろう> 3 考えを書き、話し合う。 ・お母さんたちが訴えるために、いろいろな調査をするのに時間がかかったんじゃないかな。 ・市や工場はすぐには行動していない。お母さんたちの訴えがなかなか認められなかったんだ。 ・夫が工場に働いているから、工場に不利な運動に賛成する人がはじめは少なかったんだ。 ・決まりを作るのにも時間がかかったのでは。 ・決まりを作っても実際にきれいになるには時間がかかる。それほど、よごれがひどかったんだ。 ・公害を解決する方法がなかった時代だから、施設や技術を開発するのに時間がかかったんだ。 ・お母さん達は、それでもあきらめずにがんばったなんてすごいな。 ・それだけ、公害がつかつたし、きれいにしたいと願っていたんだな。 4 ふりかえりを書き、学習のまとめをする。	・北九州市の公害問題の年表から、公害解決への取り組みが長い年月をかけて行われていたことをつかませる。 ・考える時間を保障し、前時の学習やこれまでの資料をもとに考えるように助言する。 ・検証できない意見も認めていくが、できるだけ資料を活用して考えを検証できるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 思：公害問題の解決に37年間もかかった理由を、具体的な事実と結び付けて考えている。(発言・ノート) </div>

(4) 評価の規準

	A	B	C
規準	公害問題の解決に時間がかかった理由を具体的な事実と結びつけて考え、公害解決に対する人々の願いや努力に気づいている。	公害問題の解決に時間がかかった理由を、具体的な事実と結びつけて考えている。	公害問題の解決に時間がかかった理由を考えることができない。

